

## 「丹後地域における府立高校の今後の在り方」アンケート意見記述

### ◆「小規模になっても各高校を本校のままで継続するべきだと思う」を選択された方

※アンケート調査回答票の「6府立高校の今後の在り方の方向性として提示した「三つの道」について」のその他欄及び「8高校の在り方についてお考えのことがあれば自由に記入してください」の欄に記入していただいたご意見を「6」の選択肢別に分類しています。(順不同)

	記述内容
1	地域から高校がなくなることは寂しいこと。過疎化が進む中、どんどん小・中学校も統廃合され、さらに過疎化が進むように思う。遠くの学校へ通う子どもの負担、親の負担も考慮してほしいと思う。
2	宮津高校と加悦谷高校が統合するという噂を聞くが、それは反対。暁星高校にしても海洋高校にしても高校にカラーがあり、宮津高校もこのままであってほしいので、小規模になっても今のまま継続を希望
3	小規模になっても地元の高校に通える環境であってほしい。バスや電車で他の地域に行かなくても自転車で通える環境であってほしい。学舎制で部活動が合同とはいえ、やはり別々の高校であり、部活動をするには高校間の距離もあって無理があると思う。勉強面では良いかもしれないが部活動の合同は反対
4	現在の状況がよくわからないので何とも言えないが、本校・分校をそのままにしてほしい。本校はもちろんだが、分校にしか行けない子どもにとっては、距離が遠くなるだけでもかなりの負担が伴う。教員配置や予算の問題等、いろいろ難しいとは思いますが、本校には通えない子どもたちへの配慮を考えてほしい。
5	人数が減っていくこの先だが、近くに高校があることが望ましい。本人が行きたい高校がなくなることはすごく残念だし、送り迎えの負担が親にもかかってくることも考えてほしい。
6	H40頃には約半数の生徒数になるとの推計だが、半数程度であれば本校のままで継続すべきだと思う。高校生にもなれば、集団活動という点では小・中学校で十分体験してきているのではないかと。再編による登下校の時間的な負担の方が大きいように思う。教員数の減少については、府の規定か、国のルールかわからないが、全国的な少子化なのだから、配置の定数を見直せば良いだけでは。
7	教員が複数の学校を掛け持ちすることによって起こり得る弊害について考えるべきではないか。常時いないことで、質問等ができない、生徒に対し目が行き届かない等、あるのではないかと。効率のみを追い、生徒のことを考えた変革になっていない。
8	転勤で移ってきたので地元のこと等はあまりわからないが、宮津高校の建築科の生徒たちには、夏休みの「コリントゲームづくり」や「イスづくり」でとても良い体験をさせてもらった。異年齢の交流もしていて、建築科はずっとあると良いと思う。我が子にもできたら宮津高校に入ってほしいので。
9	生徒不足が問題視される中、地元の学生が遠距離通学を余儀なくされるといふ。このような少子化の中、公立高校が極端に進学校となる必要があるのか疑問
10	移動手段など、どうなるのか。都会ほど交通手段が整っていないのに、各家庭への負担が多くなるのではないかと。
11	人権学習などをもっとカリキュラムに組み込んだ方が良いと思う。いじめ、差別、殺人、犯罪などの低年齢化が見られるため。
12	小・中学校を中心に統廃合が進んでいる中、府立高校まで規模を縮小する必要はないと思う。丹後にも見られる貧困等の苦しい現状、通学費等の保護者の負担、経済的な状況を考えると、たとえ小規模になったとしても、保護者の一人としては現状維持を強く望む。自分の住んでいる地域から高校がなくなる、と考えると不安とつらさしか感じない。丹後地域の子どもたちにとっては、大学進学を考える際には必ずよそに出て、下宿をしなければならないのが現状。高校は親元から通学させてやりたい。検討委員の方には、自分の子どものこととして考えてもらえるとうれしい、そのことを強く望む。難しい問題だとは思いますが、慎重な審議をお願いする。
13	地元の子どもが地元の高校に行けなくなるようなことになってきており、学費や交通費の親の負担や子どもの時間が(通学で)少なくなることもあるので、できれば住所地の高校に行けるようにしてほしい。
14	学校数が減少することにより、通学が困難になるのは生徒への負担が大きい。(通学時間)
15	学舎制にメリットを感じない。宮津高校と加悦谷高校の移動に時間がかかる。
16	小規模なりに良いところはあと思う。生徒一人一人に目が行き届いて良いと思う。
17	統廃合する必要はなく、工業科ならこの学校、スポーツならこの学校という高校が、それぞれの特長を持つ学校になれば良いと思う。その方が生徒の選択肢が広がり、能力や特技を活かせる。
18	どうであれ、小規模になっても各高校を本校のままで継続するべきだと思う。
19	難しい問題である。地域の産業の中でいろいろな学科の配分等があるし、学校の予算の問題。いけるのなら小規模が良い。やはり地域のことを考えると、都会に就職させることも必要だと思うが、地域の担い手(ベース)を育てる学科を残すことも必要だと思う(都会へ就職できる学科と地方で就職できる学科の配分を考えてほしい)。
20	自分自身、総合学科で高校から介護の勉強ができたので、近くに(久美浜)学べる高校ができたことはすごくありがたかった。高校の数は減らさないでほしい。
21	今ある高校を残してほしい。
22	少子化で人数が減少しているならば、中学校を卒業したら、必ず高校に行き、教育を受けられる枠をしっかりと確保することで、これから未来の社会を背負っていく子どもたちが、しっかりと教育を受けられるようにしたいと思う。
23	地元の高校がなくなったり、定員減で行きにくくなると通学が大変だったり、費用も負担になり、良いとは思えない。でも、メリットを考えると、統廃合や学舎制に変わるのも仕方がないかなと思う。子どもたちが充実した学生生活を送れるよう、よろしく願いたい。

	記述内容
24	親、祖父母にとってはそれなりに思い入れがあるので、人数合わせのためだけに簡単に統廃合はしてほしくない。昔は商業科が受け皿だった。普通科には少し届かないくらいの学力の子は、今は私立に行っていて親の負担が大きいと聞く。公立校として、その層が行ける学科、“レベルの低い普通科”などを配置してほしい。
25	各高校はそのままで良いのでは。合同で部活動をすると言っても、移動等のことを考えると時間ももつたない。
26	移動手段など、都会に比べて交通手段が限られているのに不便ではないのか。家庭での負担が多くなるのではないのか。
27	子どもが減少しているとはいえ、毎年受検に苦しんでいるのはなぜなのかと思う。子どもたちが希望を持って学べるよう期待している。
28	進路に合わせ、高校選択の時代になってきているが、子どもにとって突然の進路選択に思える。まだ親が決めてくれるという精神年齢なので、無理があるように思える。昔の子より経験値が少なすぎるのも要因。入学した高校は義務教育ではなく、中学までの学業や人生経験を含め、スキルアップをするような場だと子どもが認識すべき。高校により違いはあるが、大人へ確実に準備する場。塾へ行けばなんとかなるということではなく、勉強させるのではなく、子どもが考え、行動できるように、家庭教育がとても大切だと感じる（ただ各学校の先生方のご指導には感謝している。）。これからは地域も含め、高校に対する概念を変えていき、子ども自身が自立できるように、家庭での哲学的な話もした方が良くように感じる。親も精神年齢が低いという自覚を持つ時がきていると思う。
29	生徒が減ることをメリットとして捉え、より細かく能力別に教育し、全国レベルでの視点の中で学力向上を目指してほしい。ネットなどを利用した通信教育的な手段は、無駄な移動が不要で便利ではあるが、教師と生徒のふれあいの方が高校生の時期には重要だと思う。教師数を減らすことばかり考えてほしくない。
30	今の高校でも、通学が電車・バスの本数が少なく、また、なかつたりと親が毎日送り迎えしなければならない状況をなんとかしてほしい。
31	特別支援学級、特別支援教育の充実
32	望まない遠距離通学は親子ともに負担が大きいため、できれば小規模でも今の在り方を継続してほしいと思うが、専門学科を1校に1学科つくる等、特色のある学校づくりも必要だと思う。
33	高校は義務教育ではないので、高校での勉強がどれだけ必要なのか。受検を受ける難しさがあるのではないのか。一番良いのは、学力が全て良くないと高校には行けない。義務教育でないのに、勉強することが難しかったり、駄目と思えばすぐに辞めることができる。子どもが受けやすい教育の場所にしてあげてほしい。
34	他地域への移動を考えるとなく、子どもが平等に教育を受ける、少人数でも総合的に都会と同等の教育ができることが必要
35	子どもが希望する学校へ行けるよう、定員の数は減らさないでほしい。
36	高校ごとにいろいろな科を設けて、子どもたちに選択の余地を残してほしい。小規模でもそれぞれ特色を出して存続してほしい。
37	通学の負担が少ないように配慮してほしい。
38	将来の選択肢が減ること。中学生から高等学校の先を決定しなければならない高校受検の門が今より狭くなるので、親も子も不安を感じる。
39	通学路のことがあるので、丹海バスや京都丹後鉄道との連携はもちろんのことである。冬のことも考えてほしい。各校の特別な色（教育内容）を出してほしい。子どもはまだ小2だが、学習しやすい環境づくりに期待している。
40	都会との学力格差をなくすよう努力してほしい。
41	小規模になっても継続してほしい。交通手段が少ない中、統合は困る。
42	小学、中学以上に大きな問題でありながら、保護者で関心のない人が多すぎだと思う。全員を対象にした説明会が必要だと思う。配布物とアンケートではわからない。説明会に参加してつくづく思う。
43	選択する高校が少なくなるのはやめてほしい。いろいろな高校がなくなるという話を聞くたびに憂鬱である。
44	通学のことなど、子どもたちがいろいろ考えて選択ができる方が良い。
45	丹後地域は都心に比べ、非常に選択肢が限られている。普通の成績の子が入学できないのはおかしい。だったら総合選抜の方がまし。
46	まだまだ先のことはあるが、子どもが減少しても今の教育を続けてほしいと思う。大変なことではあると思うが。
47	子どもたちのレベルに合った高校が、だんだん少なくなっていくことは悲しい気がする。通学も遠くなったり、送迎の都合なども考え、無理なく通学させてあげたい。
48	学舎制ありきで進んでいる今の状態に不信感しかない。
49	精神的に不安定になり得る年頃。高校生活の中で心を閉じ込めない、子どもたちが楽しめる授業を。頭脳だけで社会に入るといふ思いより、情報社会で自分がどう選んで生きていくのかを伝えてほしい。
50	子どもが少なくなっている現状で、今までのように、が当たり前でなくなることは仕方がないと思うが、本来なら通えるはずだった高校がなくなってしまい、選択肢がなくなるのは悲しいことである。
51	地域のつながりの中、安心して通学できる学校であってほしい。
52	都会とは違い、交通の便も悪い上に、冬には雪も積もる。そう簡単に統合されては困る。ただでさえ高校が少ないので、同じ高校に通っているにも関わらず、学力レベルに差すら感じることもあるくらい。
53	地域密着というか、峰山の子が峰山高校に、網野の子が網野高校にという以前は普通だった制度を取り戻してほしい。地域の高校に行けない現在の制度にはとても疑問である。地域から子どもたちが離れていき、以前のように地域で子どもたちを育てる環境ができていない。
54	各高校を現状のまま（本校及び分校）で継続してほしい。

	記述内容
55	府立高校を統廃合して数を減らしてしまうと、丹後地域の子どもたちが「家から遠くて通いにくい」「自分の勉強したい科目のある高校がない」など、いろいろな理由で他地域、もしくは他府県の高校に通うために移り、そのまま戻ってこなくなる可能性が高くなる。丹後地域の活性を向上させるためにも、子どもたちの高校選択の道を狭くしてはならない。若者が減っていく理由につながる可能性も高くなる。都市や他地域でも子どもたちの数の減少に伴い、統廃合を進めているが、逆に公立入試の競争率が厳しくなり、とても通えず私立に行く。結果、家庭の負担がUPする話をよく聞く。丹後は丹後のやり方で、子どもたちのためにも、少しでも統廃合、学舎制という選択は避けてほしい。中学3年生数の推計というグラフで人数低下を掲示しているが、なぜこんなことになるのかという点から見直すべきではないか。丹後地域にいる中学生の何割かは他地域、もしくは他府県の高校に行っている。このデータも調べているのか。なぜ他の地域の高校に行かなければならないのか。わざわざお金をかけてまで、それなりの理由があるはず。丹後地域の高校に行く子が少なくなるので、「はい、まとめて」と簡単に決めてはならないと思う。万一統廃合した場合、家から遠くて通えない子どもはどうするのか。バスを出すならその交通費は。雪や大雨の対策は。いろいろ考えられる。デメリットを全てクリアにでき、市民を納得させられる対策があるなら良いが、問題は山積みになると思う。解決しよう、と言っている間に子どもたちは丹後から出て行ってしまふ。もっとよく保護者たちの声や子どもたちの声を聞いて決めてほしい。目の前のデータや数だけで判断するのではなく、説明会の時間帯も仕事をしている親が行けない時間帯ばかりで困る。この点ももう少し考えてもらえると幸いである。 ※レスリングなら網野、カヌーなら久美浜など、そういう子どもたちの今活躍している先輩たちへの憧れや夢を応援したい気持ちも市民全員が持っているはず。統廃合により、その憧れや夢を摘むようなことはやめてほしい。どうしてもと言うなら、レスリングは〇〇に行けばできます、という対策を考えてほしい。正直に言って、実際に統廃合され、高校の数が少なくなり、競争率が激しくなるようなら、たぶん私の子どもは京都市内の高校に行かせることになると思う。このように、先のことには不安を抱えながら、万一の時は、と考えている保護者も少なくないと思う。それでも良いのか。「丹後」は「丹後」のやり方で頑張って進めてほしい。
56	進学のみの方考え方が主の学校づくりはやめてほしい。個々の在り方を考えていかないといけないと思う。みんなが同じである必要はなくなってきているのではないかな。
57	住民が反対をしたところで、教育委員会の考え方が変わるのか。今でさえ、峰山高校に入るのも難しいのに。何でレベルを上げるのか。何でも統合して良いものなのか。自分の子どもの時代にこういった問題があるならどう思うのか。こども園、小学校と統合して良いことがあったかということ、良くなったことはひとつもない。良くなったことは何か。教えてほしい。
58	絶対減らさないでほしい。なぜ高校を減らすのかわからない。生徒数は減っても高校はなくすべきでないと思ふ。受検を難しくしてほしい。
59	田舎であり、統合されると移動(通学)が困難だと思う。
60	公共交通の利用が不便な地域も多い中、各高校は本校のまま残した方が良いと思うが、資料を見ると先生の保身のためとも思える部分があり、子どものためか、先生のためか、本当のところはどうか。高卒での就職が難しい今、田舎の小規模高校でしかできないことを考えてはどうか。例えば、1年生の海外留学、看護師、介護福祉の資格に通じる大学受験を目標にする授業内容など。
61	地方ということもあり、私立は遠い。数も少ない中で、統合は子たちの自由を奪うことにならないか。
62	子どもそれぞれのペースに合わせた高校があってほしいので、今のままで良いと思う。大きな学校にせず、少人数でしっかり学べるようにしてほしい。大宮町は特に、高校がなく、どこへ行ってもお金がかかる。
63	スペシャリストな先生を迎え入れてほしい。
64	子どもの数が減っている今、高校の在り方は重要な問題であるが、学力の低下、社会性の低下も考え、子どもたちが将来の道を歩みやすくなる環境をつくってほしい。統合のメリットはあっても、親に係る負担もあり、急いで答えを出してはいけないことだと思う。
65	子どもが希望する教育課程に進めるだけのクラス数を確保してほしい。現状は、希望する教育と生徒数を中学時点で無理矢理学校側が合わせているとしか思えない。
66	人数が少なくなってきたので在り方を考えていくことは必要と思うが、遠方の高校となった場合の交通手段、金額などに不安がある。
67	なるべく通学が便利なところが良いので、小規模校になっても各高校が継続することを希望する。
68	子どもの人口は減少していることはわかるが、高校が減ることはとても心配。上の子どもが中1だが、今から高校が減り、行く高校の選択の枠が減ることが心配でたまらない。
69	全国の高校の在り方を参考に、より良いものを検討してほしい。
70	だんだん子どもたちの人数が減ることは知っているが、学力の差があり、普通科に通えないことがないようにしてほしい。また、私学に流れてしまう子は親の負担にもなるので、公立に全員入れるくらいの定員を確保してほしい。
71	学舎制と迷った。しかし、自分の弟は中卒で舞鶴高専に入ったが、中退した。数年後、母親がもう少し自宅から通わせるべきだったと後悔していた(個人差はあるが、子ども自ら親元を離れる日はくる)。慎重に。基本、学校は歩いて、または自転車でいけるところであってほしい(せめてバスで)。学校に行かせるために親は働くわけだし、そこで親に送ってもらうという事では「行かされている」になる可能性が高くなる。せめて高校までは自分で決めて自分で行くべき。また、学校は統廃合すればするほど、地域と離れていく。地域を大切にしようと思うなら、学校を各地域に配置するべきではないか。
72	三つの道の第一と第三の違いがわからない。学舎として使うのであれば、第一のままでいけば良いと思う。未だかつて、統廃合をして良くなったという声は聞いたことがなく、悪くなったという話はよく聞く。なので、第二の道は反対
73	高校進学を希望する生徒のレベルや学科に応じた学校へ入学できるようにしてほしい。今の時代、高校を狭き門にする必要性はないと思う。

	記述内容
74	子どもの数が減少している今、統廃合も仕方がないのかもしれないが、私立でない府立高校へ通わせるのに、通学が困難になっていくのが困る。いろいろな事故や事件が多く、遠くの学校に通わせることはそういうリスクが高まると思う。地域に1つずつ、今の網野高校、久美浜高校、峰山高校は最低残してほしいと思う。
75	キャンパス制度もありだと思うが、通学用のバスが出るとしても、結局は部活動や勉強等、時間が合わなかったりして、親が送ることになるのでは、と考える。仕事の都合上、そう簡単に迎えに行けないし、今日はここ、明日はあっちと負担だらけである。
76	現在ある高校をそのまま残してほしい。通学の距離が遠くなると、今の世の中何が起きるか心配なので。寮を造ってもらえるのは良いかもしれないが、やはり子どもの顔を毎日見て通学させたい。
77	勉強だけでなく、各校それぞれの得意分野（スポーツクラブなど）の存続、レスリング、新体操など。
78	高校を完全に統廃合することは反対。更なる少子化になろうかと思う。
79	授業内容の充実はもちろんであるが、通学に係る子どもたちへの負担が少なくなるよう、自宅から近くにある学校であってほしい。もしくは、公共交通機関の利便性の見直し、スクールバス等、配慮が必要だと思う。
80	丹後は交通の便が不便なので、統廃合となると通いにくくなるデメリットが出てくると思うので。となると、親が送迎しないといけないなど負担も増える。共働きで忙しくしている家庭には大変なことだと思う。今までどおり、各町に1校くらいの高校があった方が良いのでは、と思う。
81	各高校を本校のままで教育内容の充実を図るべきだと思う。
82	地域の活力のため、現在の高校を維持してほしい。キャンパス制を採用すれば、部活動や教員の移動の課題などが解決できないと思う。
83	人数を数えると、在り方を変えていく必要があると思うが、地域に1つあることが望ましい。小中一貫で地域に根ざし、高校もその取組に加えてほしい。
84	なぜ網野高校と久美浜高校が統合なのか。交通のインフラが整っていない北部地域にとって、府立高校の重要性和生徒数だけで比較して検討するのはどうかと思う。また、私立高校がそのカバーをできるほど充実していないため、統合により、子どもの進路も狭くなり、教育の平等性が欠ける地域となる。財政面だけで考えず、子ども目線で検討してほしい。
85	学舎制とするには学舎間の距離が遠いのではないか（交流の幅が広がるのは良さそうだが行事や授業などで移動する機会が多いと時間のロスになるのでは）。各地域に普通科は存続させてほしい。通学の補助、支援をしてほしい。
86	私は宮津高校の電気科卒業生である。私が卒業して間もなく電気科がなくなってしまった。京都北部では宮津高校の電気科は有名で、卒業生も多くの方が関係のある仕事についている。それが電気科がなくなってからは、学ぶ場がなくなり、その関係の仕事に就く人もなくなった。これはとても残念なことである。皆と同じことをしては駄目。そこそこの専門の科をつくり、生徒の方から入校を希望してくれることを考えよう。どんな科が良いかは、未来を見据えた難しい問題にはなるかと思うが。
87	自宅から徒歩や自転車に通学できる学校をなくさないでほしい。網野高校を存続させてほしい。
88	母校がなくなることが寂しい。少ないからといって、なんでも統廃合するのは良くないと思う。少ない中で何ができるか考えてほしい。高校を1つにせず、そのまま多様な交流はできないか。
89	高校に通うのに、毎日、汽車やバスに乗って通うのは困るので、今のまま継続するべきだと思う。
90	網野高校がなくなると噂で聞いているが、耐震工事をしておいて廃校となるのはどうかと思う。
91	生徒数が減るのはわかるのだが、自宅から通学できる距離に高校がなくなったり、選択できる高校が限られてくるのは困る。
92	駅の近くにつくる。
93	何でもかんでも統廃合したら良いというものではないと思う。子どもたちが勉強しやすい環境をつくることは大切だと思うが、少人数、小規模になることで、学習能力の向上を図ることもできるのではないかと。統廃合には絶対に反対
94	人数も大切かもしれないが、子どもたちの能力や自分で選択できる、または、家庭の事情、交通面など、いろいろな事情を抱えている。家庭もあることを考慮してほしいと思う。
95	勉強も大切だが、社会のこと、人との関わり方も、実習などを通して教えてほしい。
96	網野高校が近い将来なくなると聞いていたので、まだ検討段階ということで少し安心した。まだ我が子は小学生なので、子どもたちは高校への進学に関して、志望高校などの意見はほとんど言わないが、網野在住の子どもたちがすべて他市町の学校に進学せざるを得ない状況になるのは、いろいろ不安がつのる。今の形は変えないでほしい。
97	バスや汽車の本数が少ないこの土地で、自宅から離れた高校へ進学することは、なかなか難しいのではないかと。定期券もバカにならない金額。バスに乗り遅れて自家用車で迎えに行く。帰宅が遅くなり家庭学習もままならない。こんなことで子どもたちのためになるのかと思う。各地に小規模でも高校は残してほしい。
98	少子化が進み、現在の規模を確保することは難しいことは理解している。しかし、統廃合、学舎制にすることで、対象となる地域の私たちは、学校を選ぶ時、選択枠も減ること、通学、時間、交通費などかなりの負担になるとのこと。現在のまま継続してほしい。
99	各高校そのまま継続が親の願い。統廃合になると、通学も不便で、子ども、そして家計の負担も大きい。「網野高校へ行きたい」という娘の希望が叶ったらと思っている。子どもの数だけで判断せず、地域柄も考慮してほしい。
100	通学を考えると高校は近い方が良い。通学に時間がかかると疲れが出て勉強に支障をきたす。高校を統合すべきでもない。
101	小規模になっても各校をそのまま継続し、教育内容を充実してもらうことが一番良いと思う。進学するにあたり、高校のうちから自分で専攻し、きちんと将来を考えられるような科目があれば、夢に向かって頑張れるのではないかと。

	記述内容
102	網野高校は残してほしい。
103	高校を減らすと、ますます不便になり、丹後に住む人が減ると思う。やめてほしい。
104	全ての学校について言えるが、教育を行う上でコストという考え方はいけないと思う。教育はコストがかかるもの。なんとか公教育に係る予算をつけてもらい、充実した学校教育をお願いしたい。難しいこととは思いますが、「国家百年の計は教育にあり」。
105	統廃合は寂しいが、人数減少によるものは仕方がないと思う。普通科もいるが、専門分野を極める学科もつくれば良いと思う。
106	統廃合することにより、学生の通学事情を改善する等の配慮を充実させてほしい。遠方よりの自転車通学となると非常に大変であると感じる。例えば、京丹後に1校となった場合、利便性を考えると峰山町内となるのだろうが、久美浜から通学するとなると、バスでも30分以上かかる地区もあると思う。それを考えると現状の峰山高校・網野高校・久美浜高校の存続を求める。
107	子どもの数は減るが、今のままのやり方で続けてほしいと思う。
108	交通の便が悪いので（バスも1時間に1本あるかどうか）、なるべく峰山高校・網野高校を残してほしい。久美浜は不便
109	仕方なしとは思いますが、高校を減らすのは反対
110	この先、生徒数が減るからといって、各高校のいずれかをなくすということはやめてほしい。ただし、分校は1校に統合したら良いと思う。
111	統廃合は仕方なしとは思いつつ、学校が減少して子どもたちの選択が限られるということ、遠くへ行かざるを得なければ家庭への負担も増えるのではと心配
112	統廃合した場合、子どもの通学距離が遠くなることもあると思うので心配
113	このようなアンケートを集めるのなら、しっかりと意見を取り入れてほしいと思う。確かに生徒数の減少はわかるが、地方においては、通学に要する時間等も含めて、普通科を減らし、学校の選択ができなくなるようなことはやめてほしい。各学校間の距離等もしっかりと検討してほしいと思う。学舎制などメリットがあるか。部活動はどうするのか。まだまだ問題は多い。
114	やはり近くの高校がなくなることは、金銭的にも時間的にもかなり困る。今、高校に通っている兄弟がいるが、バス通学をしており、それでも朝は早く、夜は遅いので、その高校がなくなると、今、小学校の子どもはどこに行かせなければならぬだろうと不安になる。
115	いじめについて、もっと先生に踏み込んでほしい。先生の立場を上げてほしい。
116	小規模になろうが学校は残すべき。
117	子どもの数の減少よっての統合等は仕方がないとは思いますが、高校独自の特色や独自性が失われる。また、選択の余地がなくなって、ますます市外や他府県に子どもや親が魅力を感じて流れていく傾向にならないか心配。とりあえずもう少し様子を見てほしい。
118	小規模になってより教育内容の充実を図ってほしいし、町の人々のふれあいも大切なことだと思うので、できれば各町に今までのように1校あることを望む。
119	自殺、いじめ、不登校、多様な人間（障害、性など）など、今抱えている問題をどう考えるか。あまりにも一部のエリートを中心に置くような教育は、高校教育としてふさわしくない。地域の教育力の大切さを再確認すべきである。
120	人数が少なくなっているのですぐに統廃合をする、ということはやめてほしい。小学校を統廃合したところで、またか、という気持ちでいっぱい。同じ子どもが小学校、高校の統廃合を経験することは、親も子どもも負担が大きいと思う。大反対
121	確かに子どもの数は少なくなるが、小規模、少人数でのきめ細やかな指導をしてほしい。小学校も合併したが、やはりできない子は置いていかれているように感じる。合併や統合はしてほしくない。
122	小規模でもそれぞれの特色を活かして今のままで存続すべき。生徒数減少のデメリットばかり目を向けずに、例えば、1クラス30名の少人数にして、より目の行き届く個性を生かした学校にすべき。小学校の統廃合で一番困っているのは子どもたちである。これ以上困る生徒をつくってほしくない。細部まで目を届かせてほしい。このアンケートを形式だけで、アンケートを実施したよ、で終わらせることなく、少数の意見でも、親の生の声として真摯に受け止め、統合・再編ありきで話を進めることのないよう希望する。統合反対
123	3年間ちゃんと通えればそれで良い。
124	現在の部活動を聞くと、このクラブに入りたいという思いがあるが、統合するとクラブがなくなったり、変わったりすることが心配
125	各高校を今のまま継続してほしい。
126	現在、支援学級に行っているの、高校に進学することにはすごく不安がある。近くで通える高校があるのかもだし、分校などもなくなるともっと不安になる。
127	現在の高校がどのような状態で、どんな学科があるのかよくわからないが、子どもが選べる選択肢が多いことや、交通の便や経済的なことを配慮して、将来につながる学校生活が送れるような高校になってほしい。
128	今ある学校が減ると、通学も、そして将来への選択肢も狭められてしまい大変だと思う。だからよけいに子どもたちは地元に残らず、都会へ行こうとするのではないか。地元を活性化させたいなら、まずは子どもたちのことを考えてほしい。
129	生徒数が減少していることは知っているが、いろいろな選択ができるよう、丹後地域に今の高校を置いてほしい。高校までは自宅から通わせてやりたい。
130	子どもの人数が少なくなっても、高校の数などを減らさないで、子どもたちが、自分の将来の目的に合ったところで勉強ができるように、もっと選択肢を増やして、専門的にできるようにしてほしい。資格が取得できるなど。
131	はっきり言ってよくわからない。何が良いのか。子どもの数が少なくなるからといって高校を減らすのどうか。良いとは言えない。今のままで良いと思う。私は反対

	記述内容
132	子ども本人が行きたい高校に入れるように考えてほしい。
133	小規模になると活動に制限が出てくるものもあるかもしれないが（3クラス以下）、全国各地には小規模（3クラス以下）の学校でも活躍しているところがある。「小規模が悪い」という考え方から間違っていると思う。
134	バス・列車の本数が限られる中、遠方へ通うようになるのは不便。バス停も駅も遠い地区は特に。送り迎えができない家庭でも安心して通学できるよう、学校の配置の仕方交通手段も十分に審議してほしい。
135	通学の時間、定期代だけでも負担が減ってほしい。
136	現在の高校側が考えている問題点（生徒数減少以外で）、現小・中学校の先生方の考えや思いが知りたい。
137	保育所、小学校、中学校もどんどん合併している。子どもが少ないから仕方がないが、学校が遠くなると通学が大変。希望して遠い学校に行く子は良いが、合併して遠くへ行かなくてはいけない場合、部活動で朝が早かったりして、電車・バスなどのちょうど良い便がなかったりすると困る。今、中学校は朝練用のバスがあるので便利。交通の便が悪く、遠くの学校（高校）には行かず地元で、という声も聞くので、1つ高校がなくなり、遠くへ通うことになれば、なくなる方側からは、必ず交通のことは出てくると思う。義務教育でないから難しいと思うが、スクールバスみたいなのがあれば安心だが。
138	生徒数が少ないのであれば、子どもたちが行きたい高校に行けるようにしてほしい。
139	保育所・小学校・中学校を再編しているのだから、高校くらいは再編しないでほしいというのが本心。田舎から全てをなくさないでほしい。1つくらい母校を残してほしい。
140	登下校が不便になるので、町に1つずつは高校があってもほしい。高校生の下校は部活動などで暗くなってからなので、いろいろと危険だと思う。
141	進学を目的とした高校があっても良い。学舎制では生徒にも教員にも負担が大きすぎる。
142	各校にもっと他府県から来て学んでみたいと思う教育内容であるべきと思う。
143	小規模なりの良さがあるので、統廃合ばかりに目を向けるのではなく、小規模で充実した中身のある高校教育を望む。大人になっても、高校の時、誰と同じクラスで、何が一番思い出に残って、という記憶を大切にしていきたいと、今振り返って思う。
144	現在の高校教育はナショナル・ミニマムである。教育基本法第42条において、「個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め専門的な技能を習熟させる」ことが高校とされている。アンケートに同封されていた説明文書は、生徒数の減少とそれに伴う高校の小規模化の課題がクローズアップされているが、小規模化によるメリットが全く触れられていない。再編、統合することが、前述の教育基本法の趣旨に合致しているのか考える必要がある。高校の数が減ることで、法律の趣旨を達成する機会を奪うことにならないか。また、地域の人材育成の妨げにならないかをゼロベースで議論してほしい。再編ありきで検討するのではなく、地域の高校を残していくことを基本として検討するべきである。
145	統廃合で規模が大きくなれば、教育内容が本当に充実するのかわからない。小規模だからこそ特色ある教育ができることもあるし、学校が遠くなると部活動の時間も限られる。親としてはできるだけ家から近い高校に通ってほしいという気もある。
146	人数が減少する中で仕方がないと片付けて良い問題と、それではいけない問題があると思う。それを理由にせず、高校生としてあるべき姿で登校できる学校であれば良いと思う。現状、京丹後管内に行かせたいと思う魅力ある高校はない気がする。
147	継続しつつ、教育内容の充実を図るべき。生徒数減少は少子化だけでなく、高校のアピールの仕方や教育内容も関係していると思う。
148	小・中学校と義務教育で、高校から受検を体験する子どもが多数だと思うので、受検期だけでなく、常に予習、復習して充実したものに。就職する生徒、通学を断念した場合も明るい社会、未来を望めるように。
149	メリットばかり考えず、デメリットをよく考えるべき。小・中学校の合併により、バス通で子どもたちは運動不足。また、小学校が地区にないため、子どもの声を聞く機会が減る。高校まで地区からなくなったら、ますます若者の顔を見ることもなくなるのかと思うと、地域が寂れていく気がする。
150	現状を維持してほしい。
151	減ってもいるが増えている年もあるので、その年にどこにも入れない等、問題が出てくるので困る。選ぶ高校がなくなる。家に負担が出る。
152	第一次産業にたずさわる人材を育てる上で、普通科教育に力を入れるのではなく、職業学校はぜひともなくさないでほしい。また、社会が第一次産業従事者に良い待遇が得られるようにならないとますます疲弊してしまう。
153	近くに高校があるのに遠くの高校に行かなければならなくなることはとても困るので、小規模になっても各高校の継続をお願いしたい。
154	年々子ども数は減少していくが、統廃合という選択肢はやはりどうかと思う。子どもが通いたい学科が、やはり遠い地域になると通学に不便になるし、やはりいろいろ問題があると思う。キャンパス制という案は私個人としては反対
155	高校、大学と勉強する上で、田舎の不便や不公平感を実感している。
156	交通の便が心配。どの高校へ行ったらとしても通いやすく考えてほしい。
157	子ども人数が少なくなり、仕方がないことかもしれないが、少人数でもなんとか今のまま高校を残し、少ないながらやっていける方法は考えてもらえないか。
158	統廃合による通学の負担などないように検討してほしい。子どもたちが個性を活かせるように願う。
159	行きたい高校に入れる定員の確保をお願いする。
160	統廃合によって倍率が高くなるのは不安
161	学校数はそのまま、年ごとに子ども人数を考え、定数を考えたらどうか。
162	子どもたちが選べる選択肢が少しでも多く持てる手段をどうか考えてやってほしい。

	記述内容
163	いろいろな考え方があろうかと思うが、なるべく近くに学校があり、また、その学校に通いたいと思える選択肢が数多くあるなど、スポーツも頑張っただけで知名度も上げてほしいし、親の意見はいろいろあるが、子どもの人数の減少は仕方がないことであり、何が良いということは実際にはわからない。でも、高校は金銭面でも負担は大きいので、なるべく今のままが良いと思う。
164	今は皆、高校に行くのが当たり前となっており、そのため、高校も半義務教育にすれば、高校を統廃合しても良いのではないかとと思われる。中卒でも行けるように、半義務教育で制度を変えてもらえれば良いと思う。そうすれば高校受検もなくなり、親も子どももゆとりが出ると思う。私立に行く人は受検もあるだろうが。
165	府立高校が減るのは各家庭、経済的に大変になっていくのでやめてほしい。
166	丹後地域は非常に選択肢が少ない。普通の成績の生徒が公立高校に入学できないのはおかしいと思う。これまでの各校のイメージがあるので、それを覆すような教育内容及び教員の充実を求める。
167	子どもを持つ親としては、近くにある学校に行ってほしい。自動車やバスの運行の本数も少なく、不便だと思える(部活動によっては朝早く、夜遅いなど、家庭での学習時間が持てるか心配)。できるだけ、子どもたちが希望する高校へ入れるようにしてほしい。
168	子どもたちへの要求が増える一方で、教員の質、保護者に対する接遇の面、個人情報取扱やプライバシー保護についても、教員の教育にもっと力をいれるべきではと考える。児童生徒に求めること、選択肢を減らすことはできても、教員の質やレベルアップ、人として少し学ばれるべきではないかと思われる。実際に先生方の対応で、不快に思うこともある中、児童生徒、学校を減らすことは反対。今のままで良い。
169	近い数年はこのまま継続。学習・教育内容により、1クラスが確実にでなくなると思う必要がある。現在でも通学時に送迎に困っておられる家庭があると聞くので、子どもの学習に支障をきたさないことを一番に考えていくことが必要だと思う。
170	各家庭、生活状況がいろいろある。親としては、家から近い学校へ行ってもらうことを望んでいるが、仕方なく離れた学校へ行くとなると、家計に負担がかかってくる。今の経済の状況の中、負担が大きくなると、学校へ行かせてさえあげることが難しくなってしまうとも思うので、現行のままにしてもらえると、より良い学校生活を送らせてあげられる気がする。
171	子どもたちがしっかり学ぶことのできる高校であってほしい。
172	交通の便が悪い中、校数を減らすのは子どもを持つ親にとっては困る。都会のように電車が多く走るところとは違い、子どもの数は減っていくかもしれないが、交通の便が悪い中、とても困る。
173	『小規模であっても各高校を本校のまま継続すべきである。』と強く願う。※定員減はやめた方が良い。
174	各個人の学力に合った学校、学科へ通学できると良いと思う。高校進学は皆が進む道なのに、それを狭き門にする必要性がわからない。
175	公立高校の枠は生徒分確保すべき。
176	キャンパス制度は学校同士が近ければありかなと思うが、移動の全てをバスでまかなえと思えないし、移動時間を費やすのはもったいないと考える。
177	子どもたちは〇〇高校出身、〇〇高校に入学したい、という言葉をよく出す。その高校には、やはり今までに培った特色がある。その特色は子どもたちが学校を選ぶ時の大事な選択肢ではないか。
178	学校を統廃合することは、教師の数も減り、学校運営を維持するための費用も削減できると思うが、通学時間など子どもの負担を考えると現在の高校数を維持してほしい。分校を本校に統合して学科を新設しても良いのではないか。
179	通学が大変になるので、地域には必要だと思う。
180	今のままで高校を継続してほしい。
181	専門的なことを学ぶことも大切だが、進路を明確に決める段階が早過ぎる気がする。
182	網野高校がなくなってしまうと聞いた。そうなれば網野や丹後町方面の人口もさらに減って、悲しい事態になるのでは。弥栄分校に普通科がないのはなぜか。地元の高校に、普通科がないため、わざわざ遠くの学校を受検しなければならない。京丹後市内の府立高校の学力に大きな差を感じている人は多いと思う。
183	今のままで良い。子どもの能力、ペースに合ういろいろな選択ができる高校であってほしい。そして大宮は高校がなくどこへ行ってもお金がかかるということも考えてほしい。
184	統合する意味はない。最悪。子ども一人一人のことを考えてほしい。事務的に考えないでほしい。
185	子ども数が少なくなり、在り方を考えていくのは仕方がないと思うが、子どもたちがいろいろな選択肢を持ち、将来に夢や希望が持てるようにしてあげてほしい。
186	わかりやすい説明をお願いしたい。
187	丹後地域の経済性、地域性を考えると、統廃合も学舎制も反対。近隣の市に比べると、公共交通機関が充実しておらず、ほとんどの子どもは家から近い高校へ通学している。中学3年生でまだ将来のことを考えていない子どもに、普通科の定員をこれ以上減らすのはやめてほしい。府教委は、丹後地域の現実をもっと知ってほしい。
188	今の通学でも不便なことがあるのに、これ以上遠距離の通学生が増えるのは望ましくない。高校進学が義務教育ではないとは言っても、今の時代、小学校、中学校に行くのと同じように高校にも行くのに、子の数だけで減らすことを考えるのは、本当の意味での『未来ある子どもたちのため』ではなく、大人の都合(役人。上の人たち)だけの今後の在り方の話ではないか。子どもの立場にたって考えてほしい。
189	それぞれメリット、デメリットがあり、どれがベストだとは言い切れない面があると思う。どれかに決まった以上、そのより良い方法を常に考え続けて行くことが必要だと思う。
190	高校が減ればレベルが下がり、優秀な人材がより早い段階から外に流出してしまうと思う。学校を減らすより、福知山高校のように中高一貫クラスをつくるなど、優秀な子を外に出さない工夫がほしい。丹後では留学したくても経済的に難しい子が多い。交換留学などで、より安く、より長く留学できるシステムがあると魅力的だと思う。

	記述内容
191	人数が減るからと統廃合し、地元の高校に行けなくなるのは困る。
192	現行のままで続行をお願いしたい。不合理が発生しやすいと思う。
193	交通が不便なでもう少し交通量を増やしてほしい。
194	学校を維持するだけでなく、子どもたちのことを第一に考えてほしい。
195	子どもの数は減少するだろうが、学校を再編したり、統廃合などの形で変えても他のことにも予算がかかると思う。部活動や通学のあるべき姿を失うのではないかと予想する。しっかり心身とも学べる環境を大切に子どもの育ちを、安定した学習の場を望む。
196	通学で町外に出られる人、出られない人、それぞれだと思う。学舎でも良いと思うが、自分の町で勉強ができることが一番だと思う。
197	身近にある高校をなくされると、不便。交通費もかかる。そんなことではますます、丹後に住む人が減り、京都の中央へ人が集まる。同じ府民なので、平等にしてほしい。
198	母子家庭になる時、高校での交通の便なども考え、網野にしたこともあるので、網野高校の普通科はなくさないでほしい。その子の意欲、伸びしろに合うクラス分けは、必ず必要であると思う。現実的、将来性のサポート、指導は、先生にも少なからずアドバイスなりお願いしたい。
199	子どもが減り、高校の存続を考える時期なのかもしれないが反対。田舎は、正直収入が少ない。少ない中で、みんな生活しており、高校が統廃合することで、これまでのように地域の高校に行けず、遠い高校に行くことになることは、電車、バス代がその分かかる。それでは市民の生活が確保されない。困窮者が増えていくと思う（生活保護世帯も増える。）。
200	現在の丹後地域では交通の便も悪く、「高校でも部活動を続けたい」と言っている我が子には小規模であっても、近くの高校が、そのまま入学できるように存続を願う。
201	現状のままが望ましい。もしくは、峰山高校と網野高校は統合してほしい。
202	各高校を本校のまま継続してほしい
203	家から近い学校は残してほしい。網野高校は残してほしい。
204	間人分校のような、少人数で大勢の中で過ごせないけどその中でなら学べる子どもたちが通える高校は必ず残してほしいと思う。
205	従来どおりの府立高校の在り方を望む。多様な選択に対応した教科等の授業は望んでいない。
206	通学のこと、部活動のこともある。簡単に「1つにしよう」「減らそう」というのは大変困る。
207	生徒数が減少していることはよくわかるが、現在、網野高校の生徒をよく見てほしい。一人一人が生き生きと、輝き、頑張っている姿を。規律を守る校風は、峰山高校と比べ、親が安心して通わせることができる学校である。絶対に守るべき学校である。よく見てほしい。あいさつがしっかりできる子どもを育て、人として学び育った子どもたちを育ててくれる網野高校は絶対に必要な学校である。
208	再編や統廃合などが実施されると、より通学が難しい学校が増えると思う。子どもが通える範囲内の学校選択も必要だと思う。通学だけで生活に追われる日々になる傾向が予想される。高校は部活動の充実も大切なひとつと考える中で、これまで同様の活動のしかたは難しいと感じる。
209	人数が減るのは仕方がないと思うが、高校を減らすのはどうかと思う。少人数でも多くの選択ができる方が良いと思う。
210	遠くの高校へ通う交通手段のことを考えてほしい。時間の都合等でやりたい部活動をあきらめざる得なかったり、結局続けることで家族への負担も大きくなってくるので。近くに高校があるのになぜわざわざ遠いところへ行かないといけないのか。
211	できれば今のまま残してほしいと思う。
212	小規模であってもその高校にしかない特色があるので、できるだけ残してやってほしい。
213	交通の便が良いところに学校を残してほしい。
214	人数減少に伴い、いろいろと考えなくてはならないと思うが、高校の数が減り、定員数も減らされ、どこにも行きようがなくなってくる子どもたちは、高校など行かなくても良いのでは、と考えさせられ、でも働き口もない。そんな未来のない世の中では可哀想ではないだろうか。落ちついて勉強のできる環境を整えてほしい。
215	統廃合により、各高校の特色がなくなってしまうように思う。その高校にしかない特色や部活動などをもっと理解してほしい。
216	少人数になっても現状維持で考えてほしい。
217	できれば本校のまま継続して欲しいというのが本音。学習する内容についてだけでなく、通学にかかる交通費も家計に大きく関わってくる。中心部に住んでいない者にとっては今の状況でも負担が多いことを頭に置いてほしい。
218	交通の便が不便な地域では、現在でも交通費が大変な出費となっているのに、さらに高校の数が減少すれば、通うことも難しくなる。統廃合するならそのあたりも考えてほしい。現在高校生の子もおり、今現在でも交通費が高く思う。
219	通学の時間の問題、部活動の少人数の問題などあるが、一番辛い、しんどい思いをするのは子どもである生徒なので、よく考えてほしい。決める方も、自分の子どもはどうしたいのか。親としてどうすべきかを考えてほしい。人数が少ないから高校を1つにして、という考えは、大人の言い分で、無駄な時間を省いて有効に時間を使う高校生活を子どもたちにしてほしい。
220	統廃合になると通学の問題が出てくる。学舎制は、学舎間の移動が生徒・先生にとっても負担は大きいと思う。
221	少子化に伴い、高校の在り方について考えることは大切かもしれないが、子どもの数が増えるような町づくりについて、もっと議論してほしい。何もかもがどんどん縮小してしまう気がする。
222	「15の春は泣かさない」と嵯峨府政の時は安心して中学校3年間を過ごした良き時代があった。今は中学校に入学した時から、ゴール（高校進学）を考えて勉学に励め。内申をよくするために生徒会等をする。思春期で難しい時代・中学生時代なのだからこそ、ゴールは余裕と多岐の方向がある選択をお願いしたい。



	記述内容
223	もっと丹後地域の大学を増やすべきだと思う。18～25歳の人が少ない原因のひとつである。
224	分校を見直す必要がある時期だとは思いますが、その前に、現状でも通学の便が悪い学校もあり、統合等になるとしても、ちゃんと生徒主体で検討していくべきであると思う。入学しても通学に不便であれば、意欲もなくなるのでは、子どもが可哀想すぎる。
225	なるべく近くの高校は残してほしい。
226	普通科の人数を増やしてほしい（大学を受験するために）。専門学科はなくてもいい。専門学科で学びたいと思うのであれば、〇〇工業高校とか〇〇農業高校をつくるべきだと思う。
227	近くにある高校がなくなると、今でも不便なのに、今以上に通学にかかる時間や金銭面での負担を強いられることになる。子どもたちのことももっとよく考えてほしい。「学舎制」というのはやめてほしい。 反対
228	全寮制の進学に特化した高校などあれば。
229	統合により教育の低下を感じる（小中の感じからだ）。フォローができていないと。通学に時間がかかり過ぎる等で、補習時間の少なさ等々。高校も生徒の人数が少ないからといって、先生たちの質が良くなり、生徒たちにやる気を出させているのか、とも（義務教育ではないけれど）。どう意見を言っても聞き入れてくれないと思う。
230	子どもたちの未来への選択肢を狭めないでほしい。
231	将来の目標や進みたい学部で勉強したい子はその方向に進むことができるが、そうでない子は、普通科で勉強しながら自分の将来を見つけていくので、普通科を減らさないでほしい。それぞれの高校の特性を損なうことがないようにしてほしい。
232	今でも通学で時間をかけていたり、保護者の送迎に頼るところもある。統廃合したり、学舎制を取り入れることで、さらにそうした生徒が増える。分校については、生徒たちのいろいろな事情があり、各地域にあるニーズが高いのではないか。
233	できるだけ地元（近くの）高校で、将来に向けた選択ができるようにさせてやりたい。分校には、いろいろな事情をかかえた生徒が通学していると聞いている。少人数の良さ、生徒のニーズを大切にしてほしい。
234	通学が大変で、行ける高校の選択肢も数が少ないので、これ以上数を減らして、選択肢を減らすのはやめてほしい。
235	人数が少なくなっていく中、統合していくことは、机上ではわからなくもない意見だが、遠方から通う高校生を持つ親の負担は、交通費だけでなく、公共交通に乗せるだけでも送迎が必要な地域もあり、寮等でもあればまた違うのだが、近くに住まれている方々との格差を感じる。バスの乗り継ぎが難しかったり、天候によっても左右され、1時間以上の時間をかけて通学したり、部活動をすれば送迎（試合等）で親も子もクタクタになる。そのあたりに行政からの手をさしのべてほしい。
236	少子化とはいえ、学校数を減らすという考えは残念。子どもたちは悪くないのに。勉強できない子どもは遠くの学校へ行かざるをえないということか。ひどい。
237	各高校それぞれの良さや特色があるのに、それらをなくし、統一するのはあまり良いようには思わない。
238	遠くからでも通学できるように寮などを設置すべき。
239	宮津高校と加悦谷高校の合併の話があるが、加悦谷高校のままで残してほしい。私は2人の娘、1人は中2で、高校まであと1年あるが、もう1人の娘は5年なので、これからの通学も考えて、お金もたくさんかかるのでよろしく願います。
240	生徒数が年々少なくなっていることはどうしようもないことだが、統合すると、どうしても電車などが必要になり、通学費が要るようになる人もあるので、お金の面が心配
241	農業や商業など、これからのことを考えて、子どもたちに専門的な学びを考え、教えるのが高校の在り方だと思う。
242	各高校の特色があり、選択することができていたと思う。人数の減少により仕方がないことなのかと思うが、統廃合よりは学舎制の方が良いかと思う。
243	地域の高校がなくなれば（加悦谷高校）大変困る。また、公立高校に入れなければ私学。定員数を安易に減らしすぎるとは、家庭の負担が大きく無理
244	与謝野町の高校をなくさないでほしい。加悦谷高校をなくさないでほしい。
245	難しいことは言えないが、なぜ加悦谷高校をなくすのかわからない。与謝野町の高校をなくさないでほしい。
246	交通費のかからないように近くの公立高校を残してほしい。統合するなら全ての人の交通費を負担してほしい。
247	学舎間の距離・公共交通の便の悪さ・冬の積雪など、どれをとっても丹後の地理・気候に適しているとはとても思えない。学舎制を導入することで、人口減少の歯止めとなるのか。甚だ疑問である。部活動の存続を大人が考えて学舎制にすることが、本当の教育と言えるのか。子どもたちが主体的に考え、部活動の種類・内容などを検討する機会をつくっていくことが教育ではないのか。中学3年で進路を決定することになる。もしも違う道に進みたくなった時、働きながら学び直しができる場がなく、本人、親の金銭負担が大きい。子どもたちの人生のやりがいや学びをゆっくり自分で考えられるように、地元の普通科は絶対に必要
248	子どもたちの通学というのは、3年間続けていくにあたり、毎日のことなので、親にも負担がかかるのが、統廃合や学舎制の導入。スクールバスの運行が本当に可能であれば問題はないが、多くの方が交通面でとても不便である与謝野町（旧加悦町）の子どもたち（今でも大変な方、沢山いる）のことを考えるのなら良いが、加悦谷高校がなくなるといことはとても大きなことである。いろいろな面で高校の在り方に不安がある。
249	加悦谷高校の存続
250	加悦谷高校がなくなるのは困る。近距離に高校は必要。定期代を払っての高校ばかりになると経済的に苦しい。援助してほしい家庭が増えると思う。

	記述内容
251	府の話聞かせてもらったが、府の考えている学舎制は、市内のように近い学校同士なら良いだろうが、加悦谷高校と宮津高校とでは距離がありすぎ、部活動にしても移動しなければならないという点など、子どもたちにも負担がかかるし、バス移動になるならお金もかかる（バスの維持費など）。それから、昔のように、進学と就職が半々くらいになれば、加悦谷高校にも近隣の子どもたちが行ってくれると思う。今は進学があまりにも少なすぎる。
252	分校の在り方は、距離的な部分をもう少し配慮してあげないと、通学がしにくくなる。フレックス校に通う子どもは、精神的、体力的に弱い子どもが多く、親元から通わせることも考えなくてはならないと思う。
253	通学のこともあるので小規模でも各高校を残してほしい。
254	統廃合によって通学の不便がおおいにあると思う。親への負担が大きい。今、共働き世帯が多いのに、子どもの通学の送迎等無理。今の私の周りでも送り迎えの親は多くいる。
255	与謝野町に住んでいるので加悦谷高校がなくなるととても困る。どうぞ何とか存続させてほしい。
256	小学校から高校までは徒歩か自転車で通える距離が良い。多様な交流はメリットもあるが、小さい頃から知らない子たちとの交流なので、よく性格がわからないというデメリットもある。未成年のうちにあまり広い交流は必要ないと思う。
257	統廃合により通学が遠くなれば負担が増える。京都府が全てを負担してくれるならば問題外
258	自宅から通える公立高校の選択肢が少なくなると困る。
259	生徒数が減少するから単に再編するのではなく、減少してもあきらめず、増えていく方向も考えて良いのでは。生徒数が減少→再編→子どもの人口が増えないではなく、少しでも丹後地域に子どもが増えていく可能性がある府立高校の在り方も並行して考えていくべきではないか。
260	部活動にもっと力を入れるべき
261	子どもの数が減ってきているとはいえ、丹後では通学がとても不便で、高校が遠くなるならもっと路線バスの数を増やすなどの働きかけをしてほしい。車で送迎できない家庭もあるので。
262	統廃合も必要だと思うが、子どもの選ぶ・進む道をあきらめるようなことはしてほしくない。近くにいろいろな学科があるので、その学科を減らすのはやめてほしいと思う。必要だと思うが、現行の高校で良いと思う。縮小しても。
263	貧困問題、経済的な問題の中、府立高校は今後も継続すべきである。
264	近場の高校で、専門科があればと思う。高校のうちに資格なり取れると、就職につながりやすいし、遠くの高校になると交通費がばかにならないので。
265	地方だから選択肢がどんどん少なくなることは、子どもにとって不幸なことだと思う。少人数でもいろいろなことが学べる環境があるのが理想。人数が少ないから統合しようということは、義務教育ではありだとは思いますが、高校では個人の興味のある分野、将来に向けての準備のための選択肢が必要だと思う。
266	そのまがが一番
267	通学が困難になるようなことは困る。
268	少人数でも、何でもかんでも統合するのではなく、少人数制で残してほしい。遠くの学校に行くのは負担が大きいと思う。このまま高校を残してほしい。
269	子どもたちの通学する学校が遠くなりすぎない範囲の場所であってほしい。学びたい勉強を学べる学校であってほしい。希望する学校に入学できる定員数にしてほしい。
270	よくわからないので懇談会などに参加できたら行ってみようかと思った。
271	子どもが自転車で通うことのできる場所に高校が1つはほしい。
272	丹後地域の高校の在り方についてだが、京都府南部より北部は交通の利便性も悪く、親の経済力も悪い状態である。子どもが少なくなるという理由だけで高校を統廃合するのはいかがなものかと考えている。それより、いかに良い教育をするべきかを考えるべきだと思う。
273	加悦谷高校が宮津高校の分校に、とも噂されているが、分校になれば、与謝野にあっても他校に行くと思う。高校を減らすのであれば、交通の本数を増やしたり考えてほしい。
274	学校維持も大変だと思うが、どの高校も魅力あるものを持ってほしい。子どもたちがこの高校があるから将来はこの職に就きたいと思うような。近くに専門があると子どもたちの将来も具体的になると思う。
275	資料では小規模化のデメリットばかりが強調されているが、小規模のメリットも多々あると思う。府教委が予算をかけて教員数を確保すれば、多様な選択に対応することは可能。「財政論ではない」との言葉を遂行してほしい。分校の在り方について、このアンケートでは何ひとつ聞かれていないのはなぜか。この丹後地域でフレックス学園が求められているとは思えない。全日制の分校、定時制の分校を1つにまとめるという構想には無理があるように思う。しかも、本校は案が3つ提示されているにも関わらず、分校についてはたった1つしか提示されていないのはなぜか。この疑問にはどのような形でも良いので回答してほしい（小学校を通じてで良い）。学舎生のメリットが書かれているが、デメリットの方が多いように思う。2校を1校とすれば教員数が本当に確保できるのか疑問（校長が1減になるだけではないか）。公聴会への保護者の参加が極めて少なかったために、今回の懇談会を設定したのだと思うが、案内から開催までの日数が短すぎると思う。せめて1か月前に告知してもらわないと予定が立たない人がまた多くなり、公聴会と同じことになると思う。公聴会に出席した者として、公聴会で出された意見が全く資料に反映されていないことに不満。公聴会はなかったことにご破算でスタートするというのは理解できない。「小規模化のデメリット」「学舎化のメリット」をことさら強調しているが、資料としては「小規模化のメリット」「学舎化のデメリット」も併記すべきだと思う。懇談会の前にアンケートの締切が設定されているというのは全く理解できない。懇談会での説明を聞いて、充分理解した上で、アンケートに回答してもらうというスケジュールにしないと、何のためのアンケートかわからなくなる。とにかく府立高校の役割を十分に踏まえ、地域住民、保護者、児童生徒、教職員の声に真摯に耳を傾け、本当に良い方向性を示すべきだと思う。懇談会が非公開だということが理解できない。非公開でないと発言できないという「発言」とはどのような意見なのか。人に聞かれては困るという発言とは何なのか。公開にしてしっかり報道してもらうことが大切だと思う。非公開ということは、そこで何が語られたのか。本当に語られたのか、恣意的にねじまげられかねないと思う。

	記述内容
276	人が少なくなったから校数を減らす、ばかりではなく（減らすのは反対）、いろいろなところから「行ってみたい」「学んでみたい」と思えるような高校に全てができるのであれば、そうした高校の再配置もやむを得ないかなとも思う。減ってもそのままでも、魅力のある高校に学生が集まると思うので。
277	各市町村に1つはあるべきだと思う。
278	通学などのことを考えると、やはり各地域に高校は必要。経済的にも各家庭の負担となるようなことは絶対にやめてほしい。子どもの人数が減っているのはわかるが、地元に着した教育は必要。子どもを安心して育てていける地域環境づくりが必要だと思う。
279	地元の高校は徒歩で行けるので残してほしい。
280	現在の府教委主導の在り方検討において、キャンパス制は最大限、丹後地域に配慮してもらっていると感じる。ただ、もう少し、小規模、少人数教育のメリットも検証し、提案すべきかと思う。また、各自自治体が地域活性化に資する存在価値を府立高校に認め、人的、財政的な負担も含めて、高校教育にコミットする動きがあった場合、府教委には柔軟な対応をお願いしたい。
281	可能な限り、今のまま継続を希望する。交通機関を使っての登下校が必要な場合の交通の便の悪さを感じている。今後、子どもたちの負担が増えることのないよう、検討してほしい。
282	高校の在り方もだが、部活動にもっと真剣に取り組んでいる子を応援してやってほしい。宮津高校は特に文武両道と言ってるが、実際は課題の山で部活動困難。そんなところに加悦谷高校などを統合してほしい。
283	募集の人数を減らしている中、近くの高校で学びたいと思っても学べない。福知山等の私学へ行かなくてはならない。そんな生徒が出ないよう考えてほしい。生徒の人数が少ない中で、充実した教育、一人一人の将来に向き合える教育・指導をお願いしたい。
284	自転車で通学できる普通科の高校を残してほしい。特に加悦谷高校は地元で根ざしており、今までどおり残してほしい。
285	近くに高校があるので歩いていけるとありがたいと以前から思っていた。統合されるかもとか、なくなるかもと聞き、残念。できることなら今のままの状態でも高校が残ってくれと嬉しい。
286	生徒が半分になったところで、特に集団活動の機会が減り困るようなこともないと思うが。学校の数が減ったり、統合などの方がよほど「子どもの希望する学習ができない」と思う。「経営側」の負担は減るかもしれないが、家庭の負担がその分だけ増えるとか。遠くへ通うようになれば時間とお金の大きな負担。学校を減らすのは絶対反対
287	地元で高校がありながら遠くに行かなくてはいけないのはどうかと思う。親の負担が多い（金銭、送迎など）。
288	地域の活性化のために各高校を残していければと思う。
289	加悦谷高校がなくなることは大反対
290	公立高校をなくしてしまうと公立高校に行けなくなる生徒が増えるのではないかと。公立高校はなくしてはいけない。
291	この先、統合するなら通学費も高くなり、補助も考えてほしい。
292	このようなアンケートに回答することによって各高校が継続されることは可能になるのか。もうおおかた統合が決定しているのなら、それに対する説明等に時間・労力を費やした方が良く思う。
293	近隣の高校がなくなるのは、子どもにとっても親にとっても負担がかかる（金銭面・時間等）ので、できればそのまま残してほしい。
294	難しい問題。利便性を考えれば地元。ただ少人数で学ぶことはどちらに転ぶのか。学舎制だけは反対
295	田舎なので高校の数も少ないし、これ以上選択肢が減ると学力がない子はとても困る。複数を1つの高校に再編という話も、とてもクリアしないといけない課題が多いので、上手くいくには何年もかかりそうで、そんな時に子どもを通わせたくはない。このまま現状維持を強く希望する。
296	統廃合するなら遠方（同じ地域）の負担を軽減する処置をとってほしい（例えば、加悦谷高校が廃校し、宮津高校しか地域にない場合で、与謝野地域の学生）。それができないなら、今までの高校を存続してほしい。
297	加悦谷高校が合併の話がでていますが、加悦谷高校はそのまま、宮津高校もそのまま合併はしないでほしい。
298	来年度の公立高校の募集人員が発表されたが、今年は今の現2年生より人数が少ないが良いが、来年は募集人員を減らしたままにせず、増員してもらわないと公立高校に行けない子が出ると思う。私立高校は以前より行きやすくなったとはいえ、交通には不便なので、バスの通学が高く、家庭が苦しくなる。子どもが減ることがわかっているのだから、みんなが高校に入りやすくしてほしい。人員を減らす必要はないと思う。みんな公立に行ってほしいから塾に行き詰っている。塾代も高いのに、また私立に行くとお金もかかるし、専門学校や短大、四年制大学に行くとお金もかかるので、せめて高校は近い、お金もかからないところに行ってほしい。中学生で自分のやりたい職業を設計できる子もいて高校を選ぶ子もいると思うが、みんな高校で自分の職業は何につきたいか見つけるのでは、と思う。加悦谷高校の募集人員を増員してもらえよう願う。
299	小規模になっても身近な高校として通学等に利便性があり、存続させてほしいと思う。
300	生徒数の減少に合わせて定員を減らしても、各高校は存続してほしい。自宅から遠方の高校に通学となると、交通費もかかり、時間もかかり、生徒の負担も増えると思う。
301	分校を統合するのはどうかと思う。距離的なことを考えると、もう少し幅広くしておいた方が良いと思う。本校と学舎で協力して、部活動、試合は到底無理だと思う。普段から一緒に活動していないと絶対うまくいかない。
302	私立に行けない人がたくさんいると思うので、学力も大事だが、なるべく中学生から進学する時、近くの学校（高校）に行けたらと思う。
303	昔と違っていろいろ難しくよくわからないが、近くの高校をなくしたり、定員人数を大幅に少なくされたりすると困る。学校側の理由もあると思うが、子どもたちに楽しい高校生活を送ってほしいと願う。

	記述内容
304	加悦谷高校存続を切に願う。
305	地元の高校がもしなくなるとなると、遠距離登校になる。そうなると保護者の負担（送迎等）も大きくなる。少人数制になろうかと思うのだが、子どもにとって一番良いことは何か。普通教科にとらわれず、地元の高校も専門分野を広げるのは不可能か。
306	近くの高校へ行きたくても定員がどんどん減るばかり。子どもも減っているから仕方がないが、近くに行けず、遠くに行こうと思うと通学費もかさみ家計にくい込んでくる。親の覚悟もいるし。何より本当に子どものためにもっと考えてやってほしい。
307	加悦谷高校の存続
308	難しいことは言えないが加悦谷高校はなくさないでほしい。
309	加悦谷高校がどうなるのか早く教えてほしい。
310	丹後は交通の便がとても悪いので、地元の高校に行かせたい。統廃合で遠くなると交通費など親の負担も多くなり、大変困る。
311	子どもたちがお互いに高め合うためにも、ある程度の学校規模を確保することは必要なことだとは思っている。しかし、交通機関が未発達で、非常に不便な丹後の地での統廃合、学舎制の導入は不可能で絶対にやめてほしい。子どもたちには十分な学習時間を確保し、学ぶ機会を平等に与えてほしい。丹後は京都府の中でいつもおきざりである。不便な中で精一杯生活し、未来ある子どもたちに希望を持って生きていける環境を整えてやりたいという一心で、日々を生きている。丹後に生まれてしまったばかりに、全ての面で不利で不便な子どもたちに、せめて教育だけは平等に学べる機会・環境を与えてほしい。通学時間、手段の環境が整わない限り、無理な統合、学舎制の導入は行わないでほしい。15歳で将来は決められない。公立高校には普通の普通科で人生の基礎知識を学べる場であることを願う。
312	地域地元根ざした生活基盤育成に向けて、現状にできるだけ近い状況での体制を希望する。
313	通学の負担、経済的負担などいろいろ考えると、やはり今の状態で学校を継続してほしい。ただでさえ少子化が進んでいるのに、将来の不安でますます子どもを産み育てることが困難になってくるのではないか。安易に考えず、町民の声をきちんと聞いてほしい。
314	小規模のままでも継続と思う反面、あと2つの選択肢もありなのかなと思う。どういう方向になるにしても、子どもたちにとってベストな方向に進むよう検討していきたい。
315	近くの高校がなくなれば、低収入者からすれば通学費だけで負担が大きくなる。高校として残っても学習レベルが下がり、分校のような形（今ある）で進学が難しくなるようであれば残っても同じこと。受検者が100名程あるのであれば、もうしばらく様子を見ても良いのでは。他市からも受検者があるのであれば、今のままの方が良いと思う。
316	学習面では気にならないが、部活動に関して理解できない。
317	加悦谷高校をなくすのはやめてほしい。
318	生徒数が減少していく上で在り方が変わっていくのは仕方がないのかもしれないが、子どもたちには多くの選択肢を与えてやりたいと思う。大人の事情で子どもたちの人生が左右されないようにしてほしい。
319	こういった現状になったのは学校側の問題もあると思う。小規模でも特色のある学校があれば、必要とする生徒は入学してくると思う。
320	小規模になっても、各高校を継続してほしい。通学などのことも考えてほしい。
321	子どもがいききたい高校が（統合したら）このままでは選びにくい。このままの高校で。
322	どの地域に住んでいても、平等な条件で受検でき通えるように子どもや親のことを考えた学校づくりであってほしい。
323	統合すると家庭の事情で遠くに行けず、地元に通いたいのにできなくなる。少子化で高校の人数も減り、統廃合するのも良いとは思いますが、いろいろな問題が出てきているような気がする。
324	子どもが減少していく中で「学舎制」は仕方がないことだと思うが、通学のことや部活動を考えると、近くの府立高校に行かせたいのが本心である。兄の時も部活動（野球）では、たくさんの地域の方に声援をいただいた。親も子どもも嬉しかったし、感謝している。この気持ちを大切にしていきたい。
325	生徒の通学のしやすさ、選択の幅を考えると現状維持を望む。
326	よくわからないが、加悦谷高校は本校のままで継続してほしい。祖父や親戚、皆が通った学舎に我が子も通わせたい。なくならないでほしい。加悦谷高校のままであってほしい。加悦谷高校のとても近いところに住んでいる。悪い例だと思うが、我が家は自転車にカギをかけたことがない。でも、通学の途中だとか、高校生が多いからという中でも、一度もカギをかけない自転車をいわずにされたり、持っていたりしたことがない。皆、あいさつができ、とても良い子たちだ。でも、加悦谷高校が分校になったり、統合されると、もっと他の地域からも子どもたちが集まるので、正直、治安面で不安に思う。
327	「小規模化により想定される主な課題」について、それほど検討しなければならないことだとは思えない。現在の地域に現在のまま普通科があることが望ましい。通学の問題が一番大きい。交通機関が不便なのに、学校や普通科が減ると負担だけが子どもにも親にも大きくなる。経済的支援でもあるのか。
328	もっと事態を聞かないと、良い情報ばかり聞いても判断できない。今までに、学校の特色がつけられていること、特に学力でランクづけされている（福知山高校が1番。宮津高校、峰山高校、その他のように）状態が、この地域の子、親に大きな負担。遠くまで通うことは、雪のあるこの地域にとって、電車が止まり、帰ってこられないなど、深刻な場面が多い。我が子を遠くに通わせて初めてわかった。成績が良く、心身ともに健康で優秀な子は、どんな環境にも耐え、それこそ「切磋琢磨」していくだろう。でも、思春期は、多かれ少なかれ課題を抱える、もだえる親子が多い。そこにさらに、しんどさが加わるのがこの地域の高校受検だ。今、小学校の親はこのことはわからない。こんなことでは、この地域の子は損ばかり。住む人がいなくなる。子どもは大人になり家庭をもつて帰ってこない。
329	京都府北部には、最低現在の数の公立高校が必要だと考えている。これ以上少なくなると、私立を選択せざるを得ない子たちが増え、丹後地域には全く私立もなく、公の教育としては不公平と言わざるを得ない。人口が少ないというのは、あまりにも殺生的なことだと思う。子どもが少なくなるほど存続は大切かと思う。

	記述内容
330	地元枠を増やしてほしい。
331	学舎制になると通学や部活動の移動が不便になると思うので、今のままが良い。人数不足の部活は廃部せざるを得ない。分校は減らす（統合）べきだと思う。
332	今ある公立高校を減らさないでほしい。閉校する、分校になるなど、いろいろ噂が流れていて、子どもたちも不安に思っていると思う。
333	子どもの減少により仕方がないこととは思うが、通学するのは子ども。交通の便の良くない環境の中、遠くの高校に通う時間や交通費等の負担も増えることも考慮してほしい。
334	各学校の特徴が充実し、安定するなら良いと思う。学舎制にした場合、学年で学舎を分けるのか等、詳しい内容を知った上で考えたい。学舎間の多様な交流の実際に行われるであろうことを詳しく知りたい。
335	学舎制の教育環境の充実は理解できるが、通学の利便性を図るためという理由がよくわからない。逆に不便になってしまう子どもたちが増えるのでは。宮津高校と加悦谷高校は絶対に残しておくべきだ。バスの定期券が高くて買えない家庭もあるので、自転車に通学できるところに高校があってほしい。
336	生徒が減るからと言って、訳のわからない減らし方をして、生徒・親の進学する・させる選択先を無理に減らすのはやめてほしい。普通～ちょっと下の子でも府立に行けるよう考えてほしい。
337	生徒数が少なくなっても学べることはたくさんあると思う。現行のままで学べるようにしてもらいたい。また、子どもたちが迷うことなく、自分の進路を進んでいくためにも、混乱させないようにしてほしい。
338	通学が大変だと思う。
339	学舎制で検討されているようだが、教員の異動により、本来受けられるべきである授業以外の生徒との関わり（進路指導・補講・部活動など）が希薄になり、生徒に不便を与えると考える。交通の便が整っている地域であれば合理的と思えるが、ここは丹後である。バス・電車も1時間に1本あるなし。そんな不便な場所で、遠方までどうやって子どもたちを通学させるのか。結局は家庭への負担になる。ICTを用いるなら、学舎制にする意味はないと思う。地域性をよくよく検討してほしい。
340	各校を本校のままで継続することを強く要望する。小規模化による課題としてあげられている「学校行事・生徒会活動等の活力低下」は、取り組み方、工夫次第で十分活力を確保できると考える。現に小規模小学校でも頑張っていることから、理由は当たらない。学舎制も教職員・生徒・保護者の負担が増大するだけで現実的でない。だからといって、一気に統廃合することは絶対避けてほしい。丹後地域のことを本当に考えているなら、単費持ち出しを増やしてでも継続されたい。
341	勉強ができない子は私立しか行くところがないので、レベルを高くすることばかり考えず、できない子どももっと行きやすい学校をつくってほしい。
342	「学舎制のメリット」について、示してある例は、どちらも2つの学校を1つにしなくても今のままでもできること。大学へ進学するなら、宮津高校へという流れがあるが、公立高校なら今のままでも平等に、加悦谷高校でも高い水準の教育を受けられるべき。
343	校内で落ち着いた環境で、学習、そして自立支援してもらえる学校を望む。支援学級の設置を懇願する。
344	自宅に近い高校・自宅のある地域に密着した高校を親としては希望している。生徒が減少していても、集団活動の活力の低下は工夫次第でできるのではないかと。学舎制ありき、統廃合ありきの説明のようで、今のままでの説明文は「継続する」内容がないのがどうかと思う。学校が遠くなってしまうのは反対である。
345	自分の意志で学びたい学校や教育に対し、家から遠い学校を選択するのは良いことだと思うが、家庭事情や交通の便のことがあったり、時間のこともあるため、家から近い場所の高校に通うことがベストだと思う。
346	校内で落ち着いた環境下で、学習、そして自立支援してもらえる学校を望む。支援学級設置を懇願する。
347	中途半端な学舎制には反対。メリットを見いだすことができない。小規模校制が良いと思う。
348	家族が不安、負担なく安心して通学できる場所に高校があることが大切だと思う。今はまだ急いで決める必要はないと思う。現役高校生の意見を聞きたい。将来の高校再編には直接関係ないが、もし今、高校再編があるならばどう思うか。考えるか。